

宝莱山古墳(大田区)

ほうらいさん

前方が宝莱山古墳(都指定史跡)





説明板の辺りがくびれ部分になる



4世紀前半に築造された前方後円墳という

東京都指定史跡宝來山古墳

宝來山古墳は、多摩川下流域左岸の台地上、大田区立多摩川台公園西端の標高三十七・五メートル付近に築造された前方後円墳である。この古墳は、国史跡亀甲山古墳に次ぐ第二位の規模をもつ、全長約九十七メートルの四世紀に築かれたこの地域最古の前方後円墳である。前方部は東南に向き、この地域最大規模を誇る全長約百七メートルの亀甲山古墳の前方部と向き合う位置に造られている。

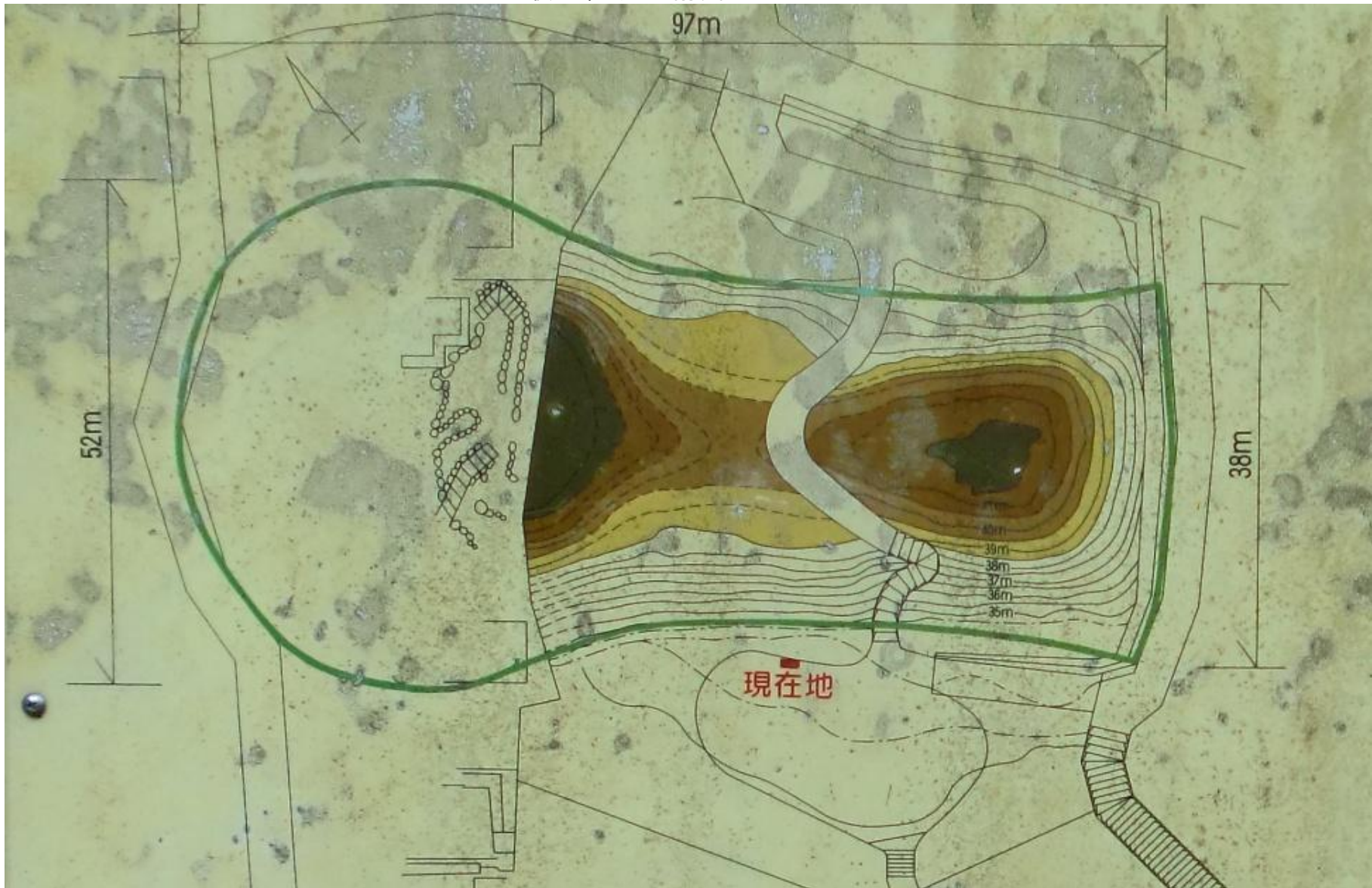
昭和九年に後円部が土取り工事で削平された際に、粘土層の埋葬施設が発見され、仿製四獣鏡、紡錘車形碧玉製品、玉類、剣、槍等が出土している。現在、この出土品は、慶應義塾大学と大田区立郷土博物館に展示・保管されている。また、この出土品のレプリカは、多摩川台公園内の古墳展示室に展示されている。

平成七年の公園整備にともなう確認調査において、前方部にも埋葬施設のあることが推定され、前方部の先端が「楕状」に広がる形をとり、前方部南側の墳丘裾から台地の際まで張り出していることが明らかになった。墳丘は、前方部一段、後円部三段に築かれ、墳丘の周冊は削り出しによる一段のテラスが設けられている。この古墳は、多摩川流域の古墳時代を解明する上で重要な遺跡として、平成八年三月十八日付けで、東京都指定史跡に指定された。

大田区

| 古墳の規模* | 埋葬施設 | 出土品 |
|-------------|------|---|
| 全長九十七メートル | 後円部は | 仿製四獣鏡1、紡錘車形碧玉製品1、硬玉製勾玉4、碧玉製管玉67、ガラス製丸玉173 |
| 後円部径五十二メートル | 粘土層 | ガラス製小玉392、鉄剣身残欠5、ヤリ形鉄器残欠5、直刀残欠7、刀子1 |
| 前方部幅三十八メートル | 前方部有 | 前方部は未発掘調査のため不明 |
| 後円部高十一メートル | | |
| 前方部高八メートル | | |

後円部が大きく削り取られてしまっている



回り込んで墳丘を見る



正面が前方部



更に回り込む





くびれ部を先程の反対側から見る



正面のフェンスの所から先の後円部が削り取られてしまっている



ここにも説明板がある



東京都指定史跡

宝^{ほう}萊^{らい}山^{さん}古^こ墳^{ふん}

所在地 大田区田園調布四一四
指 定 大正一五年四月

(平成八年三月一八日種別変更)

宝萊山古墳は、多摩川下流域左岸の台地上、標高三十七・五メートル付近に築造された全長約九十七メートルの前方後円墳で、四世紀に築かれたこの地域最古のものである。前方部は東南に向き、この地域最大規模を誇る全長約百七メートルの亀甲山古墳^{かめのこやまこふん}の前方部と向き合う位置に造られている。

昭和九年に後円部が土取り工事で削平された際に、粘土槨の埋葬施設が発見され、四獣鏡、紡錘車形碧玉製品^{ぼうすいしやがたへきぎよく}、玉類、剣などの武器類が出土している。

平成七年の公園整備にともなう確認調査において、前方部にも埋葬施設のあることが推定され、前方部の先端が「撥状」に広がる形をとることが明らかにされた。墳丘は、前方部二段、後円部三段に築かれ、墳丘の周囲は削り出しによる一段のテラスが設けられている。この古墳は、多摩川流域の古墳時代を説明する上で重要である。

平成十年三月 建設

東京都教育委員会

後円部の削り取られてしまったエリアに回ってみる



ここでスパッと削り取られて住宅地となってしまう(左手が古墳)









東京都大田区田園調布4丁目4の地図間違い指摘

インターネットより

参考ホームページ

<http://sgkohun.world.coocan.jp/tokyo/23ku/horai.html>

<http://kofunnomori.web.fc2.com/tokyo/ota/hou.htm>

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/tokyo/11_ebra/tamagawa.html

<http://inoues.net/ruins/tamagawadai.html>

http://53020342.at.webry.info/201010/article_11.html

<http://homepage2.nifty.com/matsuken/field03.htm>